

A0126
国鉄151系 特急「つばめ」・サヤ420・ED73 14両木箱セット

主な走行都市



製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

品番	A0126				
JANコード	105290				
商品名	国鉄151系 特急「つばめ」・サヤ420・ED73 14両木箱セット				
商品系形態	塗装済完成品				
素材	ABS樹脂				
予価	36,900円				
発売予定					
規格	N				
対象年齢	8歳以上				
カートン内入数	12				
実車	戦後トップを切って東京-大阪間に誕生した特急「平和」は、1950年1月1日から特急「つばめ」に改名されました。1956年11月19日東海道本線全線電化開業を機にEF58による電気機関車の牽引となりました。1960年6月1日特急「こだま」に使用されていた151系電車を置き換えられ、1964年10月1日新幹線開業後には新幹線接続特急として新大阪-博多間を結ぶ特急となりました。九州は交流電化でしたが当時特急型電車は151系しかなく、電源車サヤ420を挟んで下関-門司間はEF30・門司-博多間はED73に牽引された変則編成で運転されました。サヤ420を連結するために151系側にも改造が施されました。この変則運転も長くは続かず、1965年10月改正で交直両用481系に置き換えられました。当セットは九州に乗り入れた151系特急「つばめ」を、永久に保存するためのスペシャルセットです。				
商品	製品化要望の高かった国鉄特急型電車の始祖であるモハ20系(後の151系)を製品化九州乗り入れ時を再現したスペシャルセット・151系全車両車体番号は赤色 ED73は当セットのみのトレーラー仕様 先頭車のスカートは九州乗り入れ改造を受けた姿でA0121とは作り分け クロ151とクハ151では全長の違いを忠実に再現 特徴的なバックミラーは別パーツで再現(ユーザー取り付けパーツになります) 展望車(クロ151)の特徴的な座席の様子はシールで再現 先頭車上部のライトはカバー付きの姿でモハ20系とは作り分け 前面愛称板は交換式のタイプでモハ20系とは作り分け サロの妻板は簡易運転台の有無を作り分け(木箱セットは改造後の運転台取り付け車を再現) サシの側面手すりの有無を作り分け(木箱セットは手すり付きの後期車) モハシの側面窓配置を作り分け(木箱セットは後期車) モハ妻板はダクト付きの後期車 行先サボ・号車札印刷済 ヘッドライト・テールライト点灯(ON←→OFFスイッチ付き)・黒染車輪採用				
付属品	座席模様ステッカー・前面ヘッドマークステッカー・バックミラー				
パッケージ	木箱				
オプション対応	トミックス 室内灯#0751/0781/0785 トミックス TNカプラー#0334(クロ151・クハ151の先頭部とED73-15には対応しません)				
編成	1号車	クロ151-9	ヘッドライト・テールライト	8号車	サハ150-19
	2号車	モロ151-7	パンタグラフ	9号車	サハ150-7
	3号車	モロ150-7		10号車	モハ150-7
	4号車	サロ150-1		11号車	モハ151-17
	5号車	サン151-7		12号車	クハ151-7
	6号車	モハシ150-7			サヤ420-1
	7号車	モハ151-18	パンタグラフ・モーター車		ED73-15
					ヘッドライト